

ASEAN 大使通信 第 16 回 歓送と歓迎

2024 年（令和 6 年）3 月 28 日



ウラワディ常駐代表（タイ）歓送夕食会（2024 年 3 月 26 日）

この 3 月、皆さんはいかが過ごされましたか。日本は年度末で学校も春休みに入ったので、職場では異動になる人、休暇を取る人が多かったように思います。また、当地ではラマダンが始まって、生活のペースが少し落ち着いてきました。

私にとって、今月は歓送と歓迎の時期となりました。私の着任以来、対日調整国を担って日 ASEAN 友好協力 50 周年を成功に導いてくれたタイのウラワディ常駐代表、そして多くの機会にご一緒したベトナムのバン常駐代表の離任に際して、歓送夕食会を公邸で開催しました。その一方で、ASEAN 事務局に着任したばかりのアスタナ事務次長やナラリヤ事務次長を歓迎する機会もありました。

いただいたご縁に感謝してこそ、得られた成果を基盤に新たな発展が生まれます。今回の ASEAN 大使通信では、今月の歓送迎行事や新たな動きをご報告しながら、日 ASEAN 協力の新たな方向性を皆さんと考えていきたいと思います。



ナラリヤ ASEAN 事務次長（官房担当）歓迎夕食会（2024 年 3 月 13 日）

● 歓送と歓迎の夕食会

3 月 26 日、タイのウラワディ常駐代表を歓送する公邸夕食会を開催しました。多くの ASEAN 加盟国常駐代表、対話国大使、ASEAN 事務局幹部にお越しいただき、思い出に残るものとなりました。

ウラワディ常駐代表は、私の着任直後に ASEAN 事務局での日本食レセプションで、ASEAN 代表として一緒に「[そば打ち](#)」をして大いに盛り上げてくれました。それ以来、日 ASEAN 友好協力 50 周年のあらゆる行事や会合に出席して、アイデアを出し調整を担うことで、共同ビジョン・ステートメントや実施計画をはじめとする大きな成果が実現したと感じています。同じく離任されるバン常駐代表は、今回直前に日程が入り欠席となりましたが、この一年余りの間、様々な会合の場で多くの助言や支持をいただき感謝しています。

アスタナ事務次長（政治・安全保障共同体担当）には、2 月中旬の着任早々に公邸夕食会にお招きして、今後の日 ASEAN 協力の強化に向けて意見交換を行う機会がありました。また、ナラリヤ事務次長（官房担当）も今月公邸での歓迎夕食会にお招きして、日 ASEAN 法務司法協力、ASEAN 事務局の大阪・関西万博出展、ASEAN 事務局の機能強化に対する日本の協力など、現在進行中の重要案件について協議することができました。



ジャカルタ日本人学校のスポ GOMI 行事（2024 年 3 月 7 日）

●中学生のごみ問題への取組

ジャカルタ日本人学校では、中学 3 年生がこの 1 年間、総合学習の一環として日本と ASEAN・インドネシアの関係強化を取り上げてきました。昨年 4 月には私が講演を行って課題を出し、9 月には提言と行動宣言を取りまとめて提出し、10 月には学校祭（JJS フェスティバル）で 4 つのブースを出展しました。

3 月 7 日、卒業前の最後の活動として、ラグナン動物園でスポ GOMIを行いました。スポ GOMI とは、企業や団体が取り組む従来型のごみ拾いに、「スポーツ」のエッセンスを加え、今までの社会奉仕活動を「競技」へと変換させた日本発祥の全く新しいスポーツです。2008 年の開始以降、世界で約 1000 大会、約 10 万人が参加し、昨年世界大会が初めて開催されました。

今回、中学 3 年生の生徒約 40 名は、開会式で手作りのゴミ箱をラグナン動物園の代表者に寄贈した後、1 時間の競技でゴミを分別しながら回収し、気持ちのよい汗を流しました。これまでインドネシアのジャカルタ、バリ、バンドンなどでスポ GOMI の普及に尽力されてきた丸紅とイオンディライトの担当者にも、今回ご支援いただきました。

ジャカルタ日本人学校の生徒の皆さんが、日本と ASEAN の協力強化に向けて、自ら提案し、そして実行したことは、必ずや大きな力になると思います。卒業後も応援しています。



ASEAN 防災人道支援調整（AHA）センター幹部研修コース修了式
（2024 年 3 月 22 日）

●防災分野の交流と知見共有

3 月 22 日、ASEAN 防災人道支援調整（AHA）センターの幹部研修コース・緊急防災リーダーシップ事業（ACE-LEDMP）の[中級コース修了式](#)が開催されました。今回、ASEAN 各国の防災担当機関（NDMOs）から 20 名が参加して、約 1 か月のオンライン研修と、ジャカルタ・日本での約 1 か月の対面研修を受けました。

修了式では、ナラリヤ ASEAN 事務次長とリーAHA センター所長とともに、私からも[挨拶](#)を行い、研修員全員からのメッセージを盛り込んだ[報告動画](#)が紹介された後、修了証書を授与しました。閉会後に修了生から直接感想を聞いたところ、訪日研修では、東京・埼玉・神戸を回り、官民の幅広い機関の防災関係者と意見交換や交流を行うとともに、様々な施設の現場を視察して大変勉強になったとのことで、心からの感謝のことばを受けました。

日本では、本年 1 月にも石川県で大規模な地震が発生したばかりです。日本の防災のノウハウがこのような形で広く ASEAN 諸国に活用されることは、日本にとっても嬉しいことであり、地域や世界に対する大きな貢献だと感じています。

この研修は 2014 年に始まり、内容を弛まず改善しながら、既に約 150 人が受講しています。このような取組が今後も継続・発展するよう努力していく考えです。



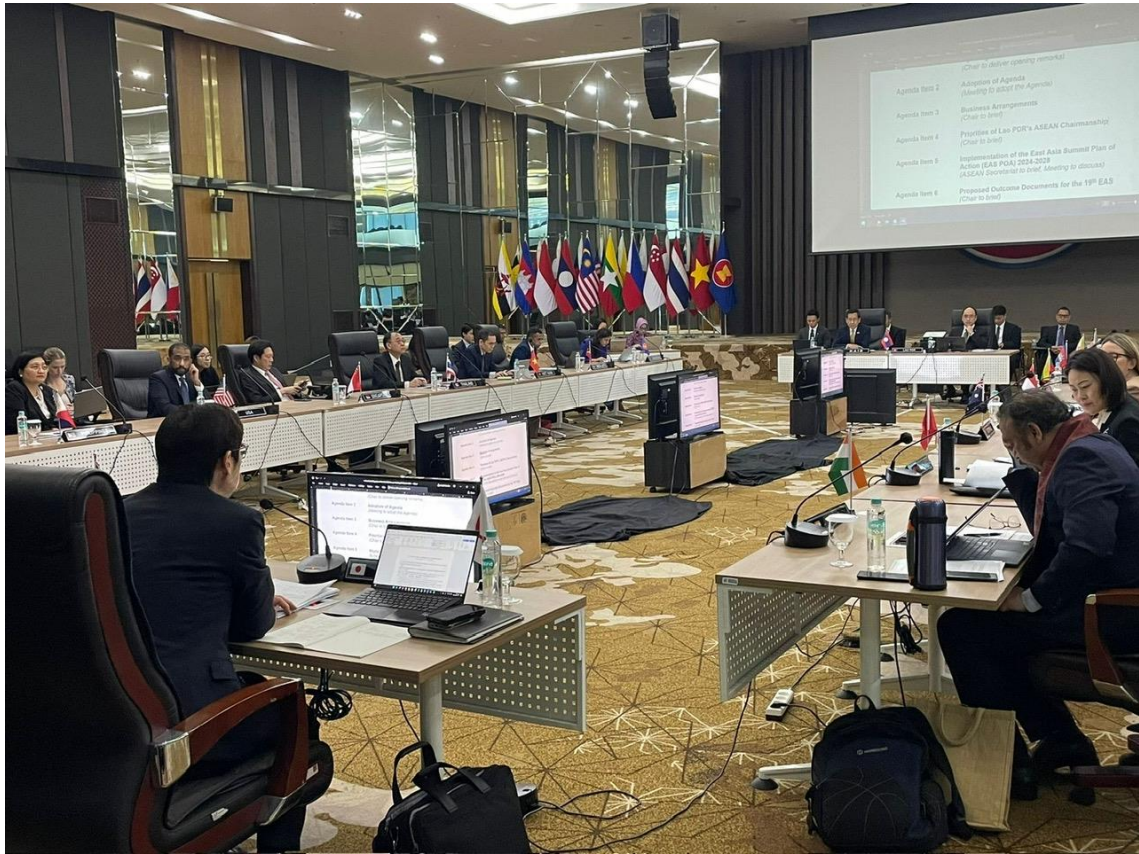
E-DISC 会員制度創設レセプション（2024 年 3 月 26 日）

●ASEAN スタートアップ・エコシステム

3 月 26 日には、昨年日本の協力で ERIA 内に立ち上げられたデジタルイノベーション・サステナブルエコノミーセンター（E-DISC）の会員制度創設レセプションに出席し、冒頭に挨拶させていただきました。

E-DISC は昨年 8 月の設立当初から、ASEAN の社会課題解決のためのスタートアップ・エコシステムの構築に向けて取組を進めてきました。今回、そのための主要パートナーが一堂に会して、[E-DISC 会員制度](#)のネットワーク拡大に向けてのレセプションが開催されたものです。ERIA の渡辺哲也事務総長、[ピジャール財団](#)のフェロ・フェリズカ専務理事、[日本東南アジア・イノベーション・プラットフォーム（JSIP）](#)の池西亮代表、JETRO シンガポール事務所の石川浩産業調査員から挨拶やプレゼンが行われ、インドネシアや日本をはじめとする産官学のスタートアップ・イノベーション関係者の交流が行われました。

また、ERIA は、[One ASEAN スタートアップ・アワード](#)の公募を本年 3 度にわたり行い、10 月にラオスで授賞式を行う予定です。これらの取組を通じて、ASEAN のスタートアップ・エコシステムが大きく発展するよう期待しています。



EAS 首脳会議（EAS）大使級会合（2024 年 3 月 26 日）

●東アジア首脳会議（EAS）プロセスの始動

同じ3月26日には、[東アジア首脳会議（EAS）大使級会合](#)が今年初めて開催されました。[東アジア首脳会議（EAS）](#)は、ASEAN10 か国に加えて日本、中国、韓国、豪州、ニュージーランド、インド、米国、ロシアの8カ国が参加する地域協力の枠組みです。

今年はラオスが ASEAN 議長国ということで、10 月にビエンチャンで開催予定の EAS 首脳会議に向けての準備が今回始まりました。また、昨年採択された2024 年～2028 年の EAS 行動計画の下での協力推進や、地域情勢についての意見交換も行われました。

昨年9月に当地で開催された EAS 首脳会議では、インド太平洋に関する ASEAN アウトルック（AOIP）の主流化と実施に対する支持が、[首脳声明](#)で初めて確認されました（第 33 パラ）。今後、これを具体化するための取組を、日 ASEAN 友好協力 50 周年で打ち出した様々なイニシアティブも活用して進めていきたいと思ひます。



代表部員歓送昼食会（2024 年 3 月 7 日）

●成果を基盤に新たな時代をつくる

ASEAN 代表部でも、この 3 月に異動がありました。広報班の[常塚慈美専門調査員](#)は、[日 ASEAN フェア](#)や [Golden Friendship ウォーク&ラン](#)をはじめ、日 ASEAN 友好協力 50 周年の主要広報行事を一手に担って活躍してきました。今月離任ということで、事務所のテラスで歓送昼食会を開催しました。館員からの寄せ書きやプレゼントを受け取り本当に嬉しそうでした。記念すべき年に、皆の心に大きな思い出を残してくれました。

昨年の日 ASEAN 友好協力 50 周年を通じていただいた様々なご縁に感謝し、それを次の時代に引き継いでこそ、得られた成果を基盤に新たな発展が生まれると思います。今月の歓送迎の行事で感じたことを深く胸に刻み、新しい皆さんと一緒に、日本と ASEAN の新たな時代を築いていきたいと思います。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦